



# トミー協働 つうしん

発行:南房総市 富山協働推進室 (TEL 0470-57-3799)  
 企画編集:地域づくり支援員富山担当 (FAX 0470-57-3002)  
 〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)  
 メールアドレス:tomiyamachiikidukuri@sunny.ocn.ne.jp

第5号



鎌田教授が様子をうかがう中、ワークショップを真剣に進めるA班メンバー

第四回目の「富山の地域づくりを考える会」が、千葉工業大学鎌田元弘教授を迎えて、十一月二十五日に富山公民館で開催されました。  
 今回で「考える会」を終え協議会設立に向けてスタートするため、「協議会準備委員会」に移行するための賛同を得て、その後各班の選考による代表者十五人を準備委員会委員に選出して、委員長及び副委員長を選出しました。(詳細は2・3ページに掲載)

## 協議会設立に向けて新たなスタート 「準備委員会」に移行

〜第四回富山の地域づくりを考える会〜

### 私の考える地域づくり⑤



高崎在住 佐野左内さん

私は、いままで観光関係の役員に長く携わってきました。そこでいつも考えている地域づくりの基本は、受益者負担の心ということです。山や海岸など自然資源を利用して利益を得る人(観光などを生業にしている人)は、当然、自らが自然を守る義務があるという事です。このことは、山や海によって心を癒されている地域の方々や観光に来た方も受益者の中に含まれます。山や海岸をいつもきれいに利用してゆくには、利益を受けている地域の人たち自身が積極的に自然保護に励み、海や山をきれいに保つことが大切です。

それが私の考える地域づくりです。



芸能発表での富山中と岩井・平群小の生徒・児童たち。日頃の練習の成果を十分に発揮しました。

- ①富山中2年生37名による八犬伝の創作舞踊
- ②岩井小3・4年生55名による合唱
- ③平群小児童全員による合唱

十一月七日、地区文化祭が展示と芸能発表の部に分かれ、富山公民館で行なわれました。

### 地域の話

#### 日頃の練習の成果を発揮

〜富山地区文化祭〜

### トミー協働つうしん

## 「存じですか、こんな活動」

富山地区内では、産業・環境・福祉・ボランティア・公民館活動にいろいろな団体が、それぞれの目的をもっていろいろな活動をしています。今月は、読み聞かせボランティアあひるの会(関野みずえ会長)をご紹介します。

絵本読みかせボランティアグループあひるの会 会員数15名:平成15年、館山市で主催した「子どもの絵本読み聞かせボランティア講座」に16名が参加した後、当時の富山中央公民館の呼びかけで10名の参加であひるの会が発足しました。現在は、平群小と岩井小で月1回づつ、憩いの家と白鳩保育園でそれぞれ隔月に、公民館で第3土曜日に意欲的に活動を行なっています。



(あひるの会 会員メンバー)



のをてす 城崎つぎ 地情待いす

### 「読者の投稿コーナー」

我が家のペット、フェレット(イタチ科)と猫を紹介します(久枝 小澤和子さん)



我が家の自慢のペットは、フェレットのファル君と猫のトウフです。ファル君はフェレットの四代目で、昼はもっぱら寝ていて夜になると活動する夜行性。でも、主人を気づかい小さな声でコッ・コッ・コッと鳴くだけで、静かに夜を過ごします。我が家に来て四ヶ月目のトウフは四匹いる猫の中では、ファル君と一番の仲よして、部屋に離すと二匹でじゃれ合っています。

房日の短歌の選者をされている、山田にお住まいの戸倉さんからの投稿で、天皇・皇后さまが国体視察などのためにご訪問されたときに詠われた、短歌六首が寄せられました。

- 朝より警察車両しきりなりり下り またのぼり来る
- 大山の千枚田を覗られ天皇陛下皇后陛下はこちらに向かふとぞ
- 両陛下山田の道はふたたびのお通り なからん幸ひに立つ
- 窓を開き皇后さまは雨の中み手振り 会釈す並ぶわれらに
- 手を出さば皇后さまに触るるほど近くみ車徐行なしゆく
- 日の丸の小旗振りつづく菊のご紋のみ車ゆつくりさかりて往くに

天皇・皇后さまお通りになる 戸倉 すずむ



11月20日、富山公民館で行なわれた絵本の読み聞かせ会。6人の会員が交代で1冊の本を子供達に読み聞かせていました。会員の話に夢中になって、絵本の世界に引き込まれる子供達。テレビと違って温かみのある言葉に、安心感が漂っています。今では紙芝居にも挑戦していて、会員で絵を描き富山のむかし話を富山の方言で聞かせています。

### わがふるさと富山⑤

千葉県で唯一「岳」の名のつく山「伊予ヶ岳」(三三六・六段)。なぜ「千メートル級の山でもないのに」というのが初めて名前を聞く人の感想ではないでしょうか。この山は、周辺の山々と比較して高くて険しい山で、特に中腹より上は岩石が表面に露出し急斜面です。また、四国の名峰石鎚山(伊予の大岳)に似ているところから、「伊予ヶ岳」の名前が付いていると思われまふ。  
 伊予とこう名の起りですが、安房の国が、あふるの国  
 天富命(安房開拓の神)に率いられてこの地にきた、阿波の忌部氏(四国の阿波 徳島県)が居住したところから、安房郡とつけられたとされています。「伊予」もやはり阿波の忌部氏と南海の州、伊予の国(四国の伊予 愛媛県)との縁によって名づけられたものといわれています。



(岩肌が露出した伊予ヶ岳。天狗伝説のあるこの山の頂上付近は、まるで獣が口をあけて空を見上げていくかのようです)

### 伊予ヶ岳の名の起り

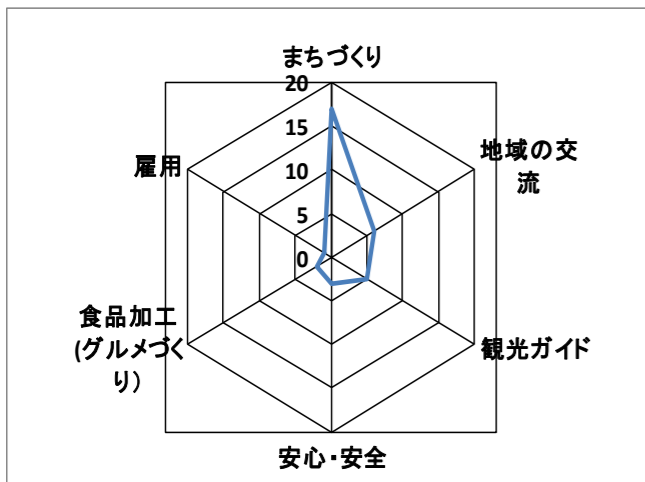
(久枝と富山参照)

### ◆伏姫と八房のたわ言◆

十二月に入り寒くなってきたので、体の温まるお風呂の想い出です。小さいころ祖母とお風呂に入ると、よく温まるようにあがる前に、数を数えさせられました。熱くなって数えてあがるうたとすると、肩を押さえられて、「おまけの・おまけの汽車ぽっぽ、ポーンたらあがりましゅ」とゆつゆつと歌われてやっとお風呂からあがったものでした。今でも、はつきりと祖母の歌声を覚えています。この思い出で、日常生活での子どもとの小さな触れ合いの大切さをつくづく感じました。  
 三橋地域づくり支援員

# 協議会設立に向けて「準備委員会」へ移行

～会員が特に取り組みたいことはまちづくりが半数～



特に取り組みたいことについて、会員にヒアリングをした結果、図-1のようにまちづくりが17（50%）、地域の交流が6（17.6%）、観光ガイドが5（14.8%）、安心・安全が3（8.8%）食品加工（グルメづくり）が2（5.8%）雇用が1（3%）と続いています。

この数字から、山や海岸・河川などのまちづくりに取組みたい会員が半数を占めていて、次いで祭りや子供達との地域の交流や観光ガイド・安心・安全・食品加工（グルメづくり）・雇用などになっています。なお、この集計は一人が複数回答しています。



(ワークショップの結果を発表するB班)

## 準備委員長に前田正昭さんを選出

～今後は協議会設立の素案作成等を行なう～

今回の富山の地域づくりを考える会は、前回各班から出された活動計画案から一つを選び、実際に活動できるか検証するため、実践に向けたシナリオづくりを行いました。

その後、協議会設立に向けて準備委員会に移行の賛同を得て、各班代表により十五名の代表委員を選出して、最終の考える会を閉じました。

代表委員に選ばれた十五名により、富山の地域づくり協

議会準備委員長と副委員長を選出を行ない、委員長に平久里下の前田正昭さん、副委員長に高崎の佐野左内さんと二部の永井玉江さんをそれぞれ選出しました。

今後は、準備委員会によって協議会組織の編成、協議会の名称・目標・事業計画など「地域づくり協議会」設立に向け素案作りを行なっていきます。

富山の地域づくり協議会設立に向けてステップ1「考える会」が終わり、次回からステップ2「準備委員会」に移行します。「考える会」の経過と今後の検討事項は次のとおりです。 ※下のステップ1から読んでください。

**さあ！ 富山の地域づくりの始まりです。**  
安心・生きがい・賑わい富山地域に住んでよかったまちづくりを目指します

### ステップ3 協議会の誕生！

### ステップ2 協議会の準備をしよう

- ①組織・体制を考えます。
- ②会員を募集します。
- ③事業計画を作ります。
- ④先進地を学びます。
- ⑤準備会ニュースの発行をします。

### ステップ1 考える会を発足し会員の募集、市民38名が応募いままて計4回の考える会を開催

- ④11月25日：できることを探るためのシナリオづくりを行ない、協議会設立のための準備委員会委員及び委員長・副委員長の選任を行ないました。
- ③10月19日：地域づくり協議会で行う活動計画案を、班ごとにシール投票で2つ程度選びました。
- ②9月27日：シール投票を行ない、班ごとに重点テーマを5つ以内に絞り込みました。
- ①8月27日：「富山の宝・課題」をテーマに5グループに分かれワークショップを行ないました。

**結果の概要**

B班のワークショップ

まずは一人ひとりが自宅のまわりをきれいにすることから始めたらどうか？小さいところから取り組んでいけば、自然と地域が花いっぱいになります。

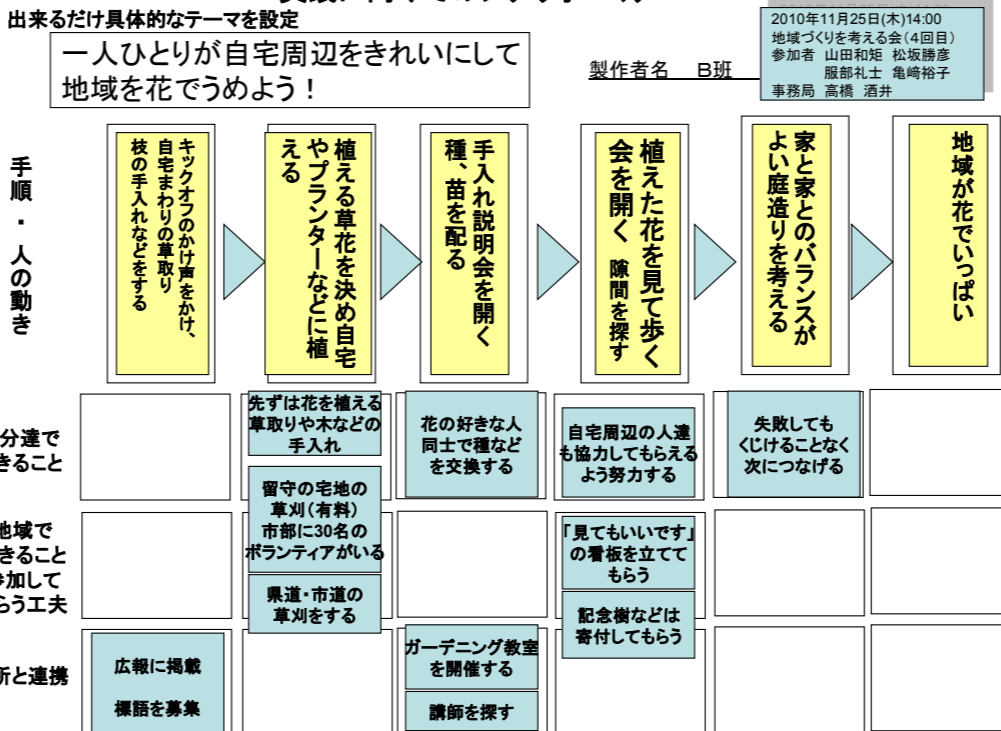
B班の実践に向けたシナリオづくりは「一人ひとりが自宅周辺をきれいにして地域を花でうめよう！」のテーマで、ワークショップを行ないました。横軸は「手順・人の動き」、縦軸は「自分達でできること」「地域でできること」「役所と連携」の視点で意見を出し合いました。

**各班が実践に向けてのシナリオづくり**

各班のテーマは次のとおりです。全班紹介できませんので地域の課題班B班のワークショップ結果を紹介します。

- A班 観光案内板等を設置しよう
- B班 一人ひとりが自宅周辺をきれいにして地域を花でうめよう
- C班 登山道の整備
- D班 岩井駅から富山地区を全部歩けるコースづくりをする
- E班 環境美化の推進

### 実践に向けてのシナリオづくり



最初は、「まちづくり」が他人ごとから「私ならこうする・私なら○○できる」と、自分ごとになってきて、具体的なところへ動いてきています。大変素晴らしい。また、今回の取組みは公共の新たな担い手として、一部分を担うということで、市民側から役所に対して連携を考えるところが大変よかったと思います。

「まちづくり」のスローガンは「右手にスコップ・左手に缶ビール」、楽しみの要素を入れながらまず現場に出てみよう、コミュニティビジネスを切り開くチャンスも出てきます。

皆さんの取組み(市民協働によるまちづくり)は、全国でも道をつくっていく開拓者です。

是非、ここはがんばってください。

スローガンは  
「右手にスコップ  
左手に缶ビール」



ワークショップの講評  
鎌田教授